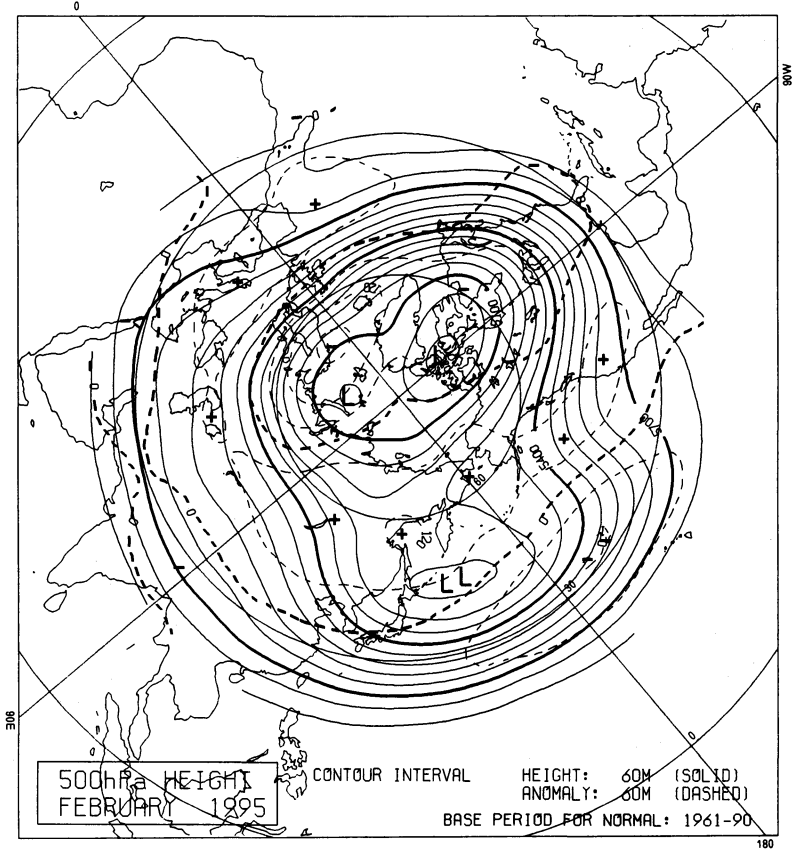


1995年2月の大気大循環と世界の天候
月平均 500 hPa 天気図



(破線は平年からの偏差. 単位m)

表 1 1995年2月の気候表

地点名	気温 °C	偏差 °C	DT/SD	降水量 mm	比率 %	降水 階級	地点名	気温 °C	偏差 °C	DT/SD	降水量 mm	比率 %	降水 階級
パリ	8.5	4.3	1.7	73	159	5	カサブランカ	14.4	1.0	1.3	41	72	3
ベルリン	—	—	—	—	—	—	ニオロドサヘル	28.9	3.2	2.1	0	0	1
ローマ	—	—	—	—	—	—	プレトリア	—	—	—	—	—	—
イスタンブール	8.5	2.6	1.4	24	36	1	バンクーバー	5.3	0.6	0.4	140	113	4
モスクワ	-0.8	6.9	1.9	54	147	—	ニューオリンズ	13.5	1.1	0.5	126	83	3
オデッサ	—	—	—	—	—	—	セントルイス	2.4	2.0	0.6	34	63	2
ニューデリー	17.3	0.4	0.3	31	161	4	サンフランシスコ	12.2	1.1	0.9	10	12	1
カルカッタ	—	—	—	—	—	—	ニューヨーク	-0.1	-0.8	-0.4	83	114	4
ボンベイ	25.5	0.7	0.8	0	0	4	マナウス	—	—	—	—	—	—
ホンコン	14.9	-1.0	-0.6	38	79	4	サンパウロ	—	—	—	—	—	—
チャンチュン	-7.7	4.3	1.7	0	0	1	ロサリオ	21.5	-1.6	-1.8	74	64	3
ベキン	2.1	4.0	2.3	2	34	2	ホノルル	23.4	0.6	0.8	166	291	5
シャンハイ	5.7	—	—	20	—	1	タヒチ	27.2	0.3	0.5	402	174	5
バンコク	—	—	—	—	—	—	ダーウィン	27.9	-0.2	-0.3	250	77	2
マニラ	26.0	0.0	0.0	—	—	—	キャンベラ	19.0	-1.1	-0.8	0	0	1

2月の世界の天候

今月の北半球 500 hPa 高度天気図は、ヨーロッパ北部からグリーンランド、北アメリカ北部までの範囲と、北太平洋を除く太平洋全域で強い負偏差となった。一方、北アメリカ北東部からベーリング海、シベリア全域、ヨーロッパ南部まで続く広い範囲で強い正偏差となった。月の前半には PNA パターンが持続し、それを反映した偏差パターンが月平均場でも見られた。

①シベリアからヨーロッパにかけての高温

アジアからヨーロッパにかけてのほぼ全域の広い範囲で高温となった。特に西シベリアでは月平均気温が平年より 10°C 以上高い所があり、タルコサレでは月平均気温が -10.3°C (平年差 $+14.7^{\circ}\text{C}$) だった。

②日本と樺太の少雨

モンゴルから日本、樺太にかけて少雨傾向だった。

③ヨーロッパ中部、北部の多雨

ヨーロッパ中部、北部では多雨となり、ドイツのハンプルグでは月降水量が 111 mm (平年の2.7倍) となった。一方、ヨーロッパ南部では少雨傾向だった。

④アフリカ北西部の少雨

アフリカ北西部およびトルコから中東では少雨傾向だった。一方、イスラエルでは上旬に大雪や大雨の被害が報じられた。

害が報じられた。

⑤北アメリカ中部、西部の少雨

アメリカ合衆国中部や西部では少雨となり、降水がほとんどなかった所も多かった。サンフランシスコでは月降水量が 10 mm (12%) だった。

⑥北アメリカ南西部の高温

北アメリカ南西部では高温となり、月平均気温が平年より 4°C 以上高くなった所もあった。一方、アメリカ合衆国東部では低温傾向で、上旬には大雪が報じられた。

⑦南アメリカ南東部の低温

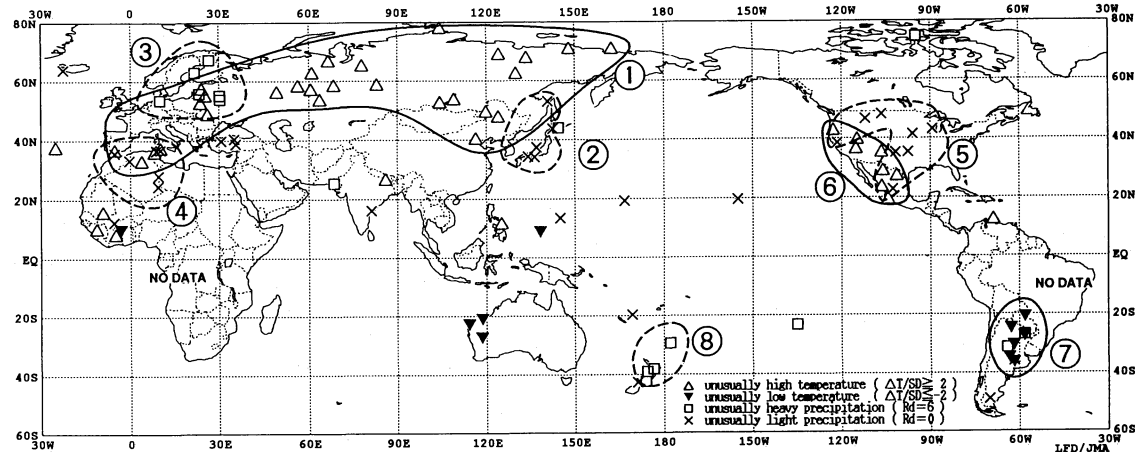
アルゼンチン北東部やパラグアイでは低温で多雨となった所が多かった。パラグアイでは大規模な洪水の被害が報じられた。

⑧ニュージーランドの多雨

⑨その他

オーストラリア西部では低温多雨となり、下旬には熱帯低気圧による被害が伝えられた。メラネシアやミクロネシアでは前月に続き少雨傾向だった。

(気象庁予報部長期予報課 千葉剛輝)



1995年2月の世界の異常天候分布図

図中の番号は、本文中の番号と対応している。

1995年2月の気候表の説明。平均値は、1961～1990年のデータに基づくもの。降水階級は五分位値で、0は最小値より小さい場合、6は最大値より大きい場合。500 hPa 高度場の平均値は1961～1990年の30年平均値。

△：高温 ▼：低温

□：多雨 ×：少雨